

子どもがデジタル機器を使う時間は決めるべき？

～家庭で実践！デジタルシティズンシップ 実践編～

<保護者向け第16号>で、『デジタルシティズンシップ教育』は、これからの子どもたちにとってとても有効なものだということをお伝えしました。そこで、今回は実践編です。実際にどのように対話しながら、デジタル機器との関わり方を考えさせて、行っていくかについて説明していきます。

子どもが
デジタル機器を使う
時間は、決めるべき？
それとも、子どもに任せて
決めなくてもいいのかしら？



デジタル機器のルールとして、1番多いのが

『平日は、〇時間以内』『土日は、〇時間以内』

というものです。1番分かりやすいルールですが、子ども一人一人の生活や性格などが反映されていないため、守れないことも多くなります。1度破ってしまうと、その後ルールが飾りのように存在するだけになってしまいます。

<小学校低学年の場合>

(1) 小学校低学年ごろの発達段階の特徴を理解

- ・目の前の刺激に反応しやすく、自制や気持ちの切り替えが難しい
- ・見通し・目的を持った行動はまだ十分出来ない
- ・承認欲求やコミュニケーション欲求から、身近な大人から注目を求めようとする

(2) 子どもへの具体的な対応

- ・一緒に使いながら、子どもの自律する基礎をつくる
- ・使うときの約束や、おしまいの合図を決める
- ・ワークシート①②を使い、親子で話しながら記入していく



(3) ワークシート②を繰り返し作成し、子ども自身が納得のいく決まり事を作成する

メディアバランスとウェルビーイング(小学校低学年)
一緒に話し合ってみよう

- 1 お家でパソコンやタブレットを使うとき／使っていて困ったときには、大人に言うようにしていますか。

- 2 お家では、パソコンやタブレットをどんなとき、何のために使っていますか。
また、これから使ってみたいと思うことは何ですか。

- 3 お家でパソコンやタブレットを使うときの約束や、おしまいの合図にはどのようなものがあるか考えてみましょう。これから1週間、どれを実行するか決めましょう。
→つぎのシートを活用してみましょう

33

↑↑↑ ワークシート①

メディアバランスとウェルビーイング(小学校低学年)
さんの
パソコンやタブレットをつかうときの「やくそく・あいず」

ワーク①の場でできた約束・合図を書き込み、目に見えるところに貼りましょう。
一定期間実行したら、振り返りを行い、約束・合図を見直しをします。
このシートを使い、計画・実行・振り返り・見直しをしながら子ども自身がメディアバランスを見つけましょう。

___月___日にきめたやくそく・あいず	___月___日のふりかえり
① _____	① _____
② _____	② _____
③ _____	③ _____

期間: _____日間

けいかく → じっこう → ふりかえり

34

↑↑↑ ワークシート②

<小・中学校・高学年の場合>

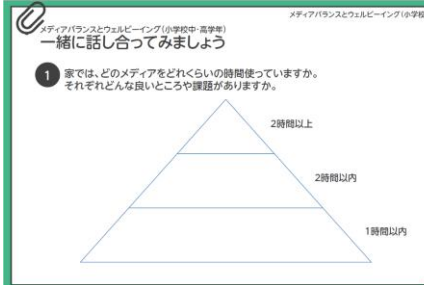
(1) 小・中学校・高学年ごろの発達段階の特徴を理解

- ・ SNS・オンラインゲームなど特定の活動にこだわりを持つ子がでてくる
- ・ デジタル世界への関わりが強くなるため、保護者との衝突や本人の葛藤が生じやすくなる
- ・ 自我の芽生え、自分自身で行動や時間を管理する重要性が理解できるようになる

(2) 子どもへの具体的な対応

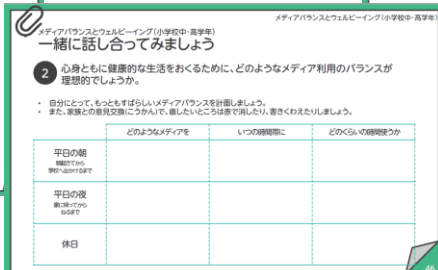
- ・ 大人が心配していることは伝えてもいいが、大人が決めたルールで管理しようとしな
- ・ 子どもにあったメディアバランスを一緒に計画・実行・振り返りを行う
- ・ 大人が子どもたちにとって良きお手本となるよう、自分自身がメディアバランスの取れた使い方を実践する

(3) ワークシート③④を作成し、自分のメディア使用について振り返り、ワークシート⑤で自分の決まり事を作る

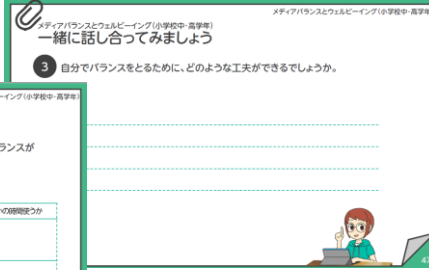


↑↑↑ ワークシート③

↓↓↓ ワークシート④



↑↑↑ ワークシート⑤



小・中学校・高学年のワークシート③④は中高生にも活用できます。私たち大人も一度このワークシートを使って、自分のメディア利用を客観的に見てみることで、反省点や改善点を見つけることができます。



『メディアバランスとウェルビーイング』を考えることが1番大切です！

心身ともに健康で幸せな生活を送るために、メディアの利用と、睡眠や食事、趣味、家族との時間などを、バランスよく両立させることを考えます。メディア利用によって、睡眠時間が少なくなったり、メディア利用を制限しすぎて、心の健康が保てなくなったりでは、両立させているとは言えません。そのため、その子に応じて『メディアバランスとウェルビーイング』が保たれている状態を見つけることが重要です。

<出典>

※総務省「家庭で学ぶデジタルシティズンシップ」

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/practice/

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】 福井県防災安全部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通) メール: kenan@pref.fukui.lg.jp

★子どもの安全安心に関する情報などをX(旧Twitter)で発信しています→



【ワークシート①（記入例）】



メディアバランスとウェルビーイング(小学校低学年) 一緒に話し合ってみましょう

記入例

1 お家でパソコンやタブレットを使うとき／使っていて困ったときには、大人に言うようにしていますか。

- ・ お父さんやお母さんが家にいるときは使う前に言うようにしている。
- ・ パソコンを使っていてわからないことがあったとき、壊してしまったのではと心配になり伝えられなかった。

2 お家では、パソコンやタブレットをどんなとき、何のために使っていますか。また、これから使ってみたいと思うことは何ですか。

- ・ 漢字のドリルをやったり、動画を観たりしている。
- ・ 動画やゲームをつくらしてみたい。

3 お家でパソコンやタブレットを使うときの約束や、やめるときの合図にはどのようなものがあるか考えてみましょう。1週間実行する約束や合図を決めましょう。
→つぎのシートを活用してみましょう

35

【ワークシート②（記入例）】



マキさんの パソコンやタブレットをつかうときの「やくそく・あいず」

メディアバランスとウェルビーイング(小学校低学年)

ワーク①の③できめた約束・合図を書き込み、目に見えるところに貼りましょう。
一定期間実行したら、振り返りを行い、約束・合図を見直しをします。
このシートを使い計画・実行・ふりかえりを繰り返しながら子どもにあうメディアバランスを見つけましょう。

記入例

2 月 1 日にきめたやくそく・あいず

- ① 使う前に「まなび」と「あそび」のどちらかをかんがえる
- ② 使うときはお母さんかお父さんにたずねる
- ③ どうか は一日15分まで

7 日間

2 月 7 日のふりかえり

- ① どちらかわからないときもあった
- ② おねえちゃんにたずねることもあった
- ③ にちようびは30分みてしまった

けいかく

➡

じっこう

➡

ふりかえり



36

メディアバランスとウェルビーイング(小学校中・高学年)

一緒に話し合ってみましょう

記入例

1 家では、どのメディアをどれくらいの時間使っていますか。それぞれどんな良いところや課題がありますか。

The pyramid diagram is divided into three horizontal sections. The top section is labeled 'テレビ' (TV) and '2時間以上' (More than 2 hours). The middle section is labeled 'ゲーム' (Games) and '動画' (Videos) and '2時間以内' (Within 2 hours). The bottom section is labeled '教科書' (Textbooks) and 'チャット' (Chat) and '1時間以内' (Within 1 hour).

48

メディアバランスとウェルビーイング(小学校中・高学年)

一緒に話し合ってみましょう

記入例

2 心身ともに健康的な生活をおくるために、どのようなメディア利用のバランスが理想的でしょうか。

- ・ 自分にとって、もっともすばらしいメディアバランスを計画しましょう。
- ・ また、家族との意見交換(こうかん)で、直したいところは赤で消したり、書きくわえたりしましょう。

	どのようなメディアを	いつの時間帯に	どのくらいの時間使うか
平日の朝 朝起きてから 学校へ出かけるまで	テレビのニュース	朝食後から出かけるまで	15分
平日の夜 家に帰ってから 寝るまで	動画 テレビ 読書	宿題が終わったら 夜ご飯を食べたあと 寝る前	15分 1時間 30分
休日	マンガを読む ネットで映画	午前中ひとりで 午後家族と一緒に	30分 2時間

49

メディアバランスとウェルビーイング(小学校中・高学年)

一緒に話し合ってみましょう

記入例

3 自分でバランスをとるために、どのような工夫ができるでしょうか。

メディアをつかう優先順位と時間を決める。

おなじメディアを長時間つかいすぎないようにする。

毎日メディアをつかった時間を記録する。

50